

令和 2 年度

第 42 回 オホーツク地区サッカー協会

総 会 議 案



日時/令和 2 年 4 月 5 日（日）10:00～

会場/北見市民会館 小ホール

【議 題】

1. 出席確認
2. 開会宣言
3. 会長挨拶
4. 議事

第1号議案 令和元年度事業報告に関する件 P2～

第1種委員会/第2種委員会/第3種委員会/第4種委員会/女子委員会
技術委員会/審判委員会/キッズ委員会/フットサル委員会/情報委員会
シニア委員会

各地域協会（北見、網走、紋別、遠軽、斜里、美幌）

第2号議案 令和元年度会計報告及び会計監査報告に関する件 P33～

第3号議案 令和2年度事業計画に関する件 P36～

第1種委員会/第2種委員会/第3種委員会/第4種委員会/女子委員会
技術委員会/審判委員会/キッズ委員会/フットサル委員会/情報委員会
シニア委員会/各地域協会（北見、網走、紋別、遠軽、斜里、美幌）

第4号議案 令和2年度会計予算案に関する件 P80

第5号議案 役員改選 P81

第6号議案 東北北海道サッカー協会の設立について P90～

5. その他 （1）加盟団体・選手登録について P93～
（2）その他

6. 閉会宣言



【INDEX】

令和元年度事業報告

加盟登録チーム	P1
事務局	P2
第1種委員会	P4
第2種委員会	P6
第3種委員会	P8
第4種委員会	P10
女子委員会	P12
技術委員会	P13
審判委員会	P19
キッズ委員会	P21
フットサル委員会	P22
情報委員会	P25
シニア委員会	P26
各地域協会	P27

令和元年度会計決算	P33
会計監査報告	P35

令和2年度事業計画

第1種委員会	P36
第2種委員会	P39
第3種委員会	P41
第4種委員会	P44
女子委員会	P48
技術委員会	P51
審判委員会	P54
キッズ委員会	P57
フットサル委員会	P59
情報委員会	P61
シニア委員会	P62
各地域協会	P64

令和2年度会計予算	P80
規約・規定	P82
組織図	P89
東北北海道サッカー協会資料	P90

令和元年度 加盟登録チーム

D. A. K	フォルツァ北見	北見Socorro	revival S・C
Diverti	FC Mirra	LASTAR	FC コパン
FC網走	ASスパーク	FC フリークス	網走市役所F. C
紋別蹴球団	遠軽社会人FC	FCベーネ	FC. BIHORO
美幌UFO FC	FC Miragross	サロマFC	東京農業大学サッカー部
1種 計 20チーム			
北見LEGEND	FC. IDEAL CUARENTA	FC イーグルス. GF	Revival.SC
オホーツクシニアサッカークラブ40		オホーツクシニアサッカークラブ50	
遊蹴会			シニア種 計 7チーム
北見北斗高等学校	北見柏陽高等学校	北見緑陵高等学校	北見商業高等学校
北見工業高等学校	網走南ヶ丘高等学校	網走桂陽高等学校	遠軽高等学校
紋別高等学校	斜里高等学校	美幌高等学校	佐呂間高等学校
興部高等学校	津別高等学校		
2種 計 14チーム			
北見市立小泉中学校	北見市立北中学校	北見市立高栄中学校	北見市立常呂中学校
北見市立東陵中学校	北見市立光西中学校	北見市立東相内中学校	北見市立端野中学校
北見市立南中学校	北見市立北光中学校	北見市立留辺蘂中学校	網走市立第一中学校
網走市立第三中学校	網走市立第四中学校	紋別市立紋別中学校	紋別市立潮見中学校
美幌町立美幌中学校	美幌町立北中学校	遠軽町立遠軽中学校	遠軽町立南中学校
小清水町立小清水中学校	津別町立津別中学校	斜里町立斜里中学校	置戸町立置戸中学校
佐呂間町立佐呂間中学校	訓子府町立訓子府中学校	湧別町立上湧別中学校	湧別町立湧別中学校
興部町立興部中学校	滝上町立滝上中学校	アクトフットボールクラブキタ U-1	FC網走 U-15
3種 計 32チーム			
アトラス北見中央サッカースポーツ少年団		北見オニオンキッドサッカースポーツ少年団	
北見西サッカースポーツ少年団		北見イーグルスサッカースポーツ少年団	
北見リトルウィングスサッカースポーツ少年団		常呂ジュニアフットボールクラブ	
FC網走 U-12		FC網走 menina U-12	
網走市サッカースポーツ少年団		遠軽はやぶさサッカースポーツ少年団	
紋別FCジュニア		紋別ドルフィンズサッカースポーツ少年団	
美幌UFOサッカースポーツ少年団		銀河ジュニアF. C 2002	
つべつサッカー少年団		斜里サッカースポーツ少年団	
上湧別FCミラグロス ジュニア		FC ベーネ U-12	
たきのうえサッカースポーツ少年団		サロマFCジュニア	
FCルゴーサ興部			
4種 計 21チーム			
レファFC	FC網走 menina	il sole FC	
女子 計 3チーム			
合計 97チーム			

令和元年度事業報告 事務局

1. 地区協会

4月14日	地区協会総会	端野町公民館 多目的ホール	77名出席
6月15日	常任理事会	北見市民スケートリンク 会議室	17名出席
9月 7日	常任理事会	サントライ 会議室	18名出席
11月30日	常任理事会	サントライ 会議室	16名出席
2月15日	常任理事会	サントライ 会議室	19名出席
3月14日	各委員会監査	メールによる書面会議	
3月21日	常任理事会	WEB 会議	

2. 道東4地区協会該当

・道東ブロック

6月30日	運営会議	北見市民会館	國田理事長、美村事務局長
12月14日、15日	ジョイントミーティング会議	端野町公民館	榊原会長、小西副会長、國田理事長、中田副理事長、美村事務局長
2月24日	運営会議	北見市民会館	國田理事長、中田副理事長、美村事務局長

3. 北海道協会該当

①北海道サッカー協会評議員会

6月 8日	札幌市	榊原会長出席
-------	-----	--------

②15地区協会代表者会議

8月31日	ホテルライフオー・札幌	國田理事長、美村事務局長出席
-------	-------------	----------------

③北海道サッカー協会90周年祝賀会

11月 9日	ホテルライフオー・札幌	榊原会長、國田理事長出席
--------	-------------	--------------

④HKFA理事会

5月18日	北海道フットボールセンター	國田理事長出席
11月 9日	ホテルライフオー・札幌	國田理事長出席

⑤北海道サッカー協会表彰式

6月 8日	札幌プリンスホテル	榊原会長、國田理事長出席
-------	-----------	--------------

⑥北海道サッカー協会5ブロック圏協議会

11月16日	北海道フットボールセンター	國田理事長出席
--------	---------------	---------

4. 道東ブロック大会主管事業

3種	道東地区カブス交流大会	(網走市 10/11~12)
4種	JFA 全日本 U-12 サッカー選手権大会道東ブロック大会	(津別町 9/21)

令和元年度事業報告 事務局

1. 地区協会

4月14日	地区協会総会	端野町公民館 多目的ホール	77名出席
6月15日	常任理事会	北見市民スケートリンク 会議室	17名出席
9月 7日	常任理事会	サントライ 会議室	18名出席
11月30日	常任理事会	サントライ 会議室	16名出席
2月15日	常任理事会	サントライ 会議室	19名出席
3月14日	各委員会監査	メールによる書面会議	
3月21日	常任理事会	WEB 会議	

2. 道東4地区協会該当

・道東ブロック

6月30日	運営会議	北見市民会館	國田理事長、美村事務局長
12月14日、15日	ジョイントミーティング会議	端野町公民館	榊原会長、小西副会長、國田理事長、中田副理事長、美村事務局長
2月24日	運営会議	北見市民会館	國田理事長、中田副理事長、美村事務局長

3. 北海道協会該当

①北海道サッカー協会評議員会

6月 8日	札幌市	榊原会長出席
-------	-----	--------

②15地区協会代表者会議

8月31日	ホテルライフオー・札幌	國田理事長、美村事務局長出席
-------	-------------	----------------

③北海道サッカー協会90周年祝賀会

11月 9日	ホテルライフオー・札幌	榊原会長、國田理事長出席
--------	-------------	--------------

④HKFA理事会

5月18日	北海道フットボールセンター	國田理事長出席
11月 9日	ホテルライフオー・札幌	國田理事長出席

⑤北海道サッカー協会表彰式

6月 8日	札幌プリンスホテル	榊原会長、國田理事長出席
-------	-----------	--------------

⑥北海道サッカー協会5ブロック圏協議会

11月16日	北海道フットボールセンター	國田理事長出席
--------	---------------	---------

4. 道東ブロック大会主管事業

3種	道東地区カブス交流大会	(網走市 10/11~12)
4種	JFA 全日本 U-12 サッカー選手権大会道東ブロック大会	(津別町 9/21)

2019年度 第1種委員会 事業報告（最終）

オホーツク地区サッカー協会
第1種委員会

1. サッカーリーグ

(1) 2019年度 第38回 北海道学生サッカーリーグ

日 程	2019年5月11日 ～ 10月20日
会 場	北見モイワスポーツワールド 他
参 加	東農大（2部）
結 果	優勝：

(2) 2019年度 第42回 北海道サッカーリーグ 第17回道東ブロックリーグ

日 程	平成31年5月12日 ～ 9月22日
会 場	北見モイワスポーツワールド 他
参 加	FC.BIHORO
結 果	順位：

(3) 2019年度 オホーツク社会人サッカーリーグ

日 程	2019年5月19日 ～ 10月20日
会 場	北見モイワスポーツワールド 他
参 加	管内18チーム
結 果	1部優勝：フォルツァ北見
	2部優勝：FC BEENE
	3部優勝：紋別蹴球団

2. サッカー大会

(1) 2019年度 第37回 知事杯全道サッカー選手権大会 オホーツク地区予選大会

日 程	2019年5月26日（日）
会 場	北見東陵運動公園
参 加	管内2チーム
結 果	優勝：FCコパン

※ 全道大会：敗退

(2) 2019年度 第26回 全国クラブチーム選手権大会 オホーツク地区予選大会

日 程	2019年6月16日（日）
会 場	北見東陵運動公園
参 加	管内2チーム
結 果	優勝：FCコパン

※ 道東予選：敗退

(3) 2019年度 第55回 全道社会人サッカー選手権大会 オホーツク地区予選大会

日 程	2019年6月23日（日）※予定
会 場	北見東陵運動公園
参 加	参加チーム無し
結 果	

※ 全道大会：出場無し

(4) 2019年度 第3回 オホーツク地区社会人サッカーエンジョイ大会

日 程	2019年10月6日(日)
会 場	網走呼人スポーツトレーニングフィールド
参 加	管内12チーム
結 果	Aブロック : Feliz Mix
	Bブロック : FC BEENE
	Cブロック : マンデーフット

(5) 2019年度 北海道サッカーリーグ 道東ブロックリーグ オホーツク地区入替戦

日 程	2019年10月20日(日)
会 場	北見モイワスポーツワールド
参 加	FC.BIHORO (道東) ・ フォルツァ北見 (地区1位)
結 果	優勝 : FC.BIHORO

3. フットサル大会

(1) 第25回 全日本フットサル選手権大会 オホーツク地区予選大会

日 程	2019年11月24日(日)
会 場	訓子府スポーツセンター
参 加	管内4チーム
結 果	優勝 : FCコパン

※ 全道地域大会 : 敗退

(2) 全道フットサル選手権大会2020 一般の部 オホーツク地区予選大会

日 程	2020年1月12日(日)
会 場	北海道立北見体育センター
参 加	管内4チーム
結 果	優勝 : FCコパン

※ 全道大会 : 新型コロナウイルスの影響により中止

2019 年度オホーツク地区サッカー協会第 2 種委員会 事業報告

【1. 地 区 大 会】

(1) 2019 年度高体連シード決定戦、春季フェスティバル

日 程：4 月 30 日（火）、5 月 3 日（金）～5 日（日）

会 場：遠軽町、北見市

結 果：1 位 網走南ヶ丘高校 2 位 遠軽高校 3 位 北見北斗高校 4 位 北見緑陵高校

オホーツク管外参加校：計 6 校

※中標津、札幌英藍、根室、枝幸、稚内大谷、帯広農業

(2) 2019 オホーツク地区 FA リーグ

日 程：地区 FA プレリーグ 4 月 29 日（月）～

地区 FA リーグ 7 月 13 日（土）～

会 場：北見市・網走市・紋別市・美幌町他

結 果：1 位 北見北斗高校 2 位 北見緑陵高校 3 位 紋別高校 4 位 網走桂陽高校

(3) 第 72 回高体連北見支部サッカー選手権大会

兼第 72 回全道高等学校高校サッカー選手権大会北見支部予選会

日 程：5 月 22 日（水）～25 日（土）

会 場：モイワスポーツワールド

当番校：北見工業高等学校

結 果：1 位 網走南ヶ丘高校 2 位 北見北斗高校 3 位 美幌高校 3 位 遠軽高校

(4) 第 98 回全国高等学校サッカー選手権大会オホーツク地区予選大会

日 程：8 月 24 日（土）～25 日（日）/31 日（土）～9 月 1 日（日） 予備日 9 月 8 日（日）

会 場：えんがる球技場

結 果：1 位 網走南ヶ丘高校 2 位 遠軽高校 3 位 北見緑陵高校 3 位 美幌高校

(5) 2019 年度第 48 回高体連北見支部新人サッカー選手権大会

兼東北海道高校ユースサッカー新人大会北見支部予選会

日 程：9 月 24 日（火）～26 日（木）

会 場：えんがる球技場

当番校：紋別高等学校

結 果：1 位 遠軽高校 2 位 網走南ヶ丘高校 3 位 紋別高校 3 位 北見緑陵高校

(6) 第31回全道ユース（U-18）フットサル選手権大会

兼第7回全日本ユース（U-18）フットサル大会北海道予選オホーツク地区予選

日 程：12月7日（土）

会 場：遠軽町総合体育館

結 果：1 位 北見北斗高校B 2 位 網走南ヶ丘高校 3 位 美幌高校A 3 位 網走桂陽高校

【2. 地区フェスティバル】

(1) 第27回オホーツクサッカーフェスティバル

日 程：8月7日（水）～10日（土）

会 場：北見市他

オホーツク管外参加校：計17校（※H30:16校、H29:15校、H28:16校）

※北広島西、武修館、芽室、札幌月寒、清水、滝川、滝川西、釧路北陽、札幌新川、
帯広農業、留萌、石狩南、中標津、江陵・幕別清陵、帯広工業、釧路湖陵、釧路明輝

【3. 道 東 大 会】

(1) 高円宮杯 U-18 サッカーリーグ 2019 道東ブロックリーグ 2 部

日 程：4月20日（土）～9月22日（日）

参加校：帯広大谷 2nd、帯広緑陽 2nd、清水、帯広農業、帯広工業、遠軽、釧路北陽 2nd、
江陵・幕別清陵、釧路工業、網走南ヶ丘（計10校による HOME&AWAY の2回戦制）

結 果：3位 網走南ヶ丘高校 7位 遠軽高校

(2) 2019年度第7回東北海道高校ユースサッカー新人大会

日 程：11月9日（土）～10日（日）

主 管：根室地区サッカー協会

結 果：1回戦 遠軽高校 1－0 釧路北陽高校

準決勝 遠軽高校 1－2 帯広北高校

1回戦 北見北斗高校 4－5 帯広緑陽高校

【4. 全 道 大 会】

(1) 2019 年度第 72 回北海道高等学校サッカー選手権大会

兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会

日 程：6月11日（火）～14日（金）

会 場：室 蘭

結 果：2回戦 網走南ヶ丘高校 2－0 稚内大谷高校

準々決勝 網走南ヶ丘高校 0－1 北照高校（ベスト8）

1回戦 北見北斗高校 0－3 市立函館高校

※全道大会報告をホームページに掲載中（16-25プラン）

(2) 2019年度第98回全国高等学校サッカー選手権大会北海道大会

日 程：10月12日（土）～14日（月）/19日（土）～21日（日）

会 場：北空知、札幌厚別公園競技場

結 果：1回戦 網走南ヶ丘高校 1－3 北海高校

※全道大会報告をホームページに掲載中（16-25 プラン）

(3) 第31回全道ユース（U-18）フットサル選手権大会

兼第7回全日本ユース（U-18）フットサル大会北海道予選

日 程：2020年1月18日（土）～19日（日）

会 場：函 館

結 果：北見北斗高校 B 0－7 科学大学高校 A

2－7 稚内大谷高校 予選リーグ敗退

令和元年度 オホーツク地区サッカー協会第3種委員会 事業報告

【地区大会結果】

※網掛けは各代表チーム

期 日	事 業	会 場	成 績			
			第1位	第2位	第3位	第4位
5月～9月(通年)	OKFAカプスリーグU-15 1部結果	管内各地	美幌北中	遠軽中	遠軽南中	興部・滝上
	同2部EAST結果	管内各地	美幌中	ACTIVE FC KITAMI	網走三中	北見小泉中
	同2部WEST結果	管内各地	紋別中	東相内中	佐呂間中	訓子府中
6/29.30.7/6	オホーツク地区中体連	えんがる球技場	網走三中	遠軽中	遠軽南中・美幌中	
10月	OKFAカプスリーグU-15 プレーオフ	管内各地	ACTIVE FC KITAMI	美幌中	紋別中	佐呂間中
11月9日・10日	U-15フットサル地区予選	紋別スポーツセンター	ACTIVE FC KITAMI	遠軽中	北見北中	4位網走一四小清水 斜里 5位遠軽南

【道東大会結果】

大会名・期日	代表チーム	成 績					
高円宮杯JFAU-15道東 カプスリーグ 5/6：音更 5/12：池田 5/18：池田 6/8：呼人 6/9：呼人 7/20：中標津・鶴居 7/27：中標津・池田 8/10：中標津・鶴居 9/1：池田 9/7：中標津・池田 9/14：鶴居・池田 10/5・6：呼人 10/12：呼人	FC網走U-15 (13勝1分 優勝)	vsSC釧路	2-2	△	vsNFCレグルス	6-1	○
		vs帯広FC	13-1	○	vs帯広FC	4-1	○
		vsNFCレグルス	4-2	○	vsSC釧路	4-1	○
		vs幕別札内FC	7-3	○	vs幕別札内FC	1-0	○
		vs北見北中	11-0	○	vs帯広南町中	2-0	○
		vs帯広南町中	5-3	○	vs釧路鳥取中	8-0	○
	道カプスリーグ2部 参入決定戦進出	vs釧路鳥取中	1-0	○	vs北見北中	5-0	○
		vs幕別札内FC	1-3	●	vs帯広南町中	0-4	●
		vs釧路鳥取中	1-2	●	vs釧路鳥取中	4-1	○
		vs帯広南町中	1-0	○	vs幕別札内FC	1-5	●
		vsSC釧路	0-5	●	vsSC釧路	2-1 0	●
		vsFC網走U-15	0-11	●	vsNFCレグルス	1-0	○
		vsNFCレグルス	0-5	●	vs帯広FC	2-3	●
		vs帯広FC	5-6	●	vsFC網走U-15	0-5	●
道東カプスリーグ プレーオフ 10月25日・26日 キッククロスおとふけ	北見市立北中学校 (道東カプスリーグ7位)	vs緑南中	0-5	●	4チーム中4位。次年度道東カプス残留決定		
		vs美幌北中	1-1	△			
		vsコンサ釧路2nd	0-2	●			
	美幌町立北中学校 (OKFAカプス1部1位)	vs緑南中	0-2	●	4チーム中3位。道東カプスへの昇格希望せず		
U-15フットサル 道東予選 11/16・17 サホロアリーナ	ACTIVE FC KITAMI U-15 【全道大会進出決定】	【1次ラウンド】			【決勝ラウンド】		
		vs別海中央	5-1	○	vsSC釧路U-15A	3-2	○
		vs帯広FC	3-0	○	vs下音更中	5-1	○
		vs遠軽南中	1-0	○	vs遠軽中	2-1	○
	遠軽中学校	【1次ラウンド】			【決勝ラウンド】		
		vs帯広緑園中	6-3	○	vsSC釧路U-15A	1-6	●
		vsコンサドーレ釧路U-15	1-4	●	vsACTIVE FC U-15	1-2	●
		vs帯広翔陽中	2-1	○	vs下音更中	5-2	○
	北見市立北中学校	【1次ラウンド】			【決勝ラウンド】		
		vs釧路青陵中	2-1	○	vsコンサドーレ釧路U-15	4-1 1	●
		vs下音更中	3-1	○	vsNFCレグルスU-15	0-3	●
		vs緑南中	3-0	○	vs帯広FC	0-5	●
	網走一四小清水斜里	【1次ラウンド】					
		vsNFCレグルスU-15	1-2	●			
		vsSC釧路U-15A	3-3	△			
		vs浦幌中	2-2	△			
	遠軽南中学校	【1次ラウンド】					
		vsACTIVE FC U-15	0-1	●			
		vs別海中央	2-5	●			
		vs帯広FC	1-3	●			

【全道大会結果】

大会名・期日	代表チーム	成 績		
北海道中体連 8/3～5：七飯・鹿部	網走三中	1 回戦 vs岩見沢光陵中	1 - 1 3 PK5	●
北海道クラブユース選手権 6/15～7/7:夕張	FC網走U-15	1 回戦 vsFC HERBONOS U-15 2 回戦 vs名寄サッカークラブJrユース 3 回戦 vs北海道コンサドーレ室蘭U-15	6 - 0 0 - 0 5 PK4 0 - 7	○ ○ ●
	ACTIVE FC KITAMI U-15	1 回戦 vs サンクFCくりやまU-15	2 - 3	●
道カブスリーグ 2 部参入戦 10月19日～11月9日 札幌	FC網走U-15	vs伊達中学校 vsVALENTE U-15 vs札幌大谷中学校 vsフロンティアトルナーレU-15 vsパーモス恵庭フットボールクラブ	0 - 4 0 - 1 1 - 4 6 - 2 6 - 4	● ● ● ○ ○
U-15フットサル 北海道予選 12/7・8 野幌総合体育館	ACTIVE FC KITAMI U-15	1 次ラウンド vsFC DENOVA札幌 vsASC北海道U-15 vs南幌中学校	4 - 3 1 - 4 3 - 3	○ ● △
全道U-14フットサル 3/7・8 野幌総合体育館	FC網走U-15	※新型コロナウイルスのため中止		

【3種指導者研修会】

期日・会場	テーマ／参加数	成果
4/20 北見東陵中グラウンド	「守備」 14名	1月に実施した道外遠征での課題から、寺田氏がトレーニングを実施。参加者はボールを奪うためのポジショニングやアプローチの質について、各チームの現状を交流しながら、指導の方向性を共有した。
7/6 えんがる球技場	「ポゼッション」 10名	オホーツク地区中体連サッカー大会会場にて、準決勝の試合を視察し、そこからの課題をもとに菊池技術委員長がトレーニングを実施、指導の留意点を共有した。

＜大会事業＞

1.

U-12サッカーリーグ in北海道
道東ブロック
オホーツク地区リーグ2019（前期）
兼 第14回 TSUBOTAKE杯
オホーツク地区U-12サッカーリーグ

期日

2019. 05-06

会場

各エリア会場

参加数

20クラブ 22チーム

特記事項

各エリアでU-8サッカー教室を開催（1～3回）

成績

斜網リーグ：①網走市②ペーネ③FC網走④斜里A⑤美幌⑥つべつ⑦斜里B

北見リーグ：①北見西②オニオン③アトラスU12④リトル⑤常呂⑥銀河⑦イーグルス⑧アトラスU11

遠紋リーグ：①遠軽②ルゴース③ドムフィズ④たきのうえ⑤紋別FC⑥ミタ⑦サロマ

プレーオフ

2019. 06. 23

モイワ

①網走市 ②遠軽 ③北見西 ④ペーネ ⑤オニオン ⑥ルゴース ⑦FC網走 ⑧ドムフィズ ⑨アトラスU12 ⑩斜里A ⑪たきのうえ ⑫リトル ⑬美幌 ⑭紋別FC ⑮常呂 ⑯つべつ ⑰銀河 ⑱ミタ ⑲サロマ ⑳斜里B ㉑イーグルス ㉒アトラスU11

2.

U-10サッカーリーグ in北海道
オホーツク地区リーグ2019（前期）

期日

2019. 05-06

会場

各エリア会場

参加数

19クラブ 20チーム

特記事項

成績

斜網リーグ：①メニナ②FC網走③ペーネA④網走市⑤斜里⑥美幌⑦ペーネB

北見リーグ：①オニオン②リトル③アトラス④北見西⑤イーグルス⑥銀河

遠紋リーグ：①遠軽②ドムフィズA③たきのうえ④サロマ⑤紋別FC⑥ルゴース⑦ドムフィズB

3.

第15回オホーツク二建会旗
兼 第16回全道少年U-10サッカー
北北海道大会
オホーツク地区予選大会

期日

2019. 06. 15-16

会場

網走スポトレ

参加数

15クラブ 15チーム

成績

①網走市
②ペーネ
③イーグルス
④つべつ

特記事項

・オホーツク二建会との共催
・グループリーグ→決勝トーナメント
・コンサドーレU-8サッカー教室を開催（6/15）参加者100名

北北海道大会

2019. 07. 13-14

十勝地区（帯広の森球技場）

1次ラウンド（グループリーグ）

2次ラウンド（トーナメント）

・ 網走市 1対0 向陵 1対1 稲田 →決勝トーナメント進出 1回戦 3対1 ペーネ 2回戦 1対0 FC ASTRO BOYS 準決勝 2対0 別海サッカー少年団A

・ ペーネ 0対3 Fami 5対0 大空 →決勝トーナメント進出 1回戦 1対3 網走市 敗者戦 1対2 中標津B

・ イーグルス 1対2 帯広 2対1 中富良野 →決勝トーナメント進出 1回戦 3対2 コサ釧路 2回戦 0対7 コサ東川

4.

2019ロバパンCUP
第51回全道（U-12）サッカー少年団大会
オホーツク地区予選大会
兼 第5回トヨタカローラ北見U-12サッカー大会

期日

2019. 06. 29-30

会場

北見モイワ

参加数

19クラブ 19チーム

成績

①遠軽はやぶさ
②網走市
③たきのうえ
④オニオン

特記事項

・トヨタカローラ北見協賛
・トーナメント戦
・指導者講習会を実施（6/29）

全道大会

2019. 07. 27-30

栗山町

1次ラウンド（グループリーグ）

2次ラウンド（トーナメント）

・ 遠軽 1対7 ASARI 0対4 北郷瑞穂 0対1 DATE →4位トーナメント 1回戦 0-0（PK1-2）土別 勝者選 2対2 別海

・ 網走市 2対7 GBB 2対6 Kitago 3対3 マオイ →4位トーナメント 1回戦 7対1 倶知安 2回戦 4対3 深川

5.

トラック協会杯
第31回全道少年団（U-11）
サッカー大会
網走地区予選大会

期日

2019. 08. 24/31

会場

北見モイワ

参加数

20クラブ 20チーム

成績

①北見西
②ルゴース
③網走市
③リトル

特記事項

・グループリーグ→トーナメント戦

全道大会

2019. 09. 14-16

札幌地区（SSAP）

1次ラウンド（グループリーグ）

2次ラウンド（トーナメント）

・ 北見西 0対2 南月寒 0対0 トロコ旭川 →3位トーナメント 1回戦 0-2 東FC 勝者選 3対0 稚内潮見が丘

＜普及事業＞

- キッズサッカーフェスティバル
日時…各エリアリーグ・二建会旗と同日
会場…各エリアリーグ・二建会旗と同会場
対象…幼児、小学校低学年児童
内容… トレーニングセッション
（コーディネーション、ボールフィーリング、
1vs1、シュートなど）
ミニゲーム ほかに



令和元年/2019年度 オホーツク地区サッカー協会 第4種委員会 事業報告（最終）

6.

U-12サッカーリーグ in北海道 道東ブロック オホーツク地区リーグ2019（後期）	期日	会場	参加数	特記事項
	2019. 07-09	各エリア会場	20クラブ22チーム	
	成績	トップリーグ：①遠軽②オニオン③ペーネ④北見西⑤網走市⑥興部⑦FC網走⑧ドムフィス 2部リーグ：①美幌A②斜里A③たきのうえ④アラス⑤リム⑥常呂⑦紋別 3部リーグ：①銀河②つべつ③ミラ④ス⑤イーグルス⑥サロ⑦アラス⑧⑨斜里B		
	JFA全日本U-12サッカー選手権大会北海道 道東ブロック大会 2019. 09. 21 オホーツク地区（津別町多目的運動公園）			
< 1 回戦 > ・ 遠軽 2対1 土幌 ・ オニオン 0対4 FC中標津 ・ ペーネ 1対4 幕別札内A ・ 北見西 0対1 コンサドーレ < 代表決定戦 > 1対0 幕別札内B →北海道大会へ進出				
JFA第43回全日本U-12サッカー選手権大会 北海道大会 2019. 10. 12-14（室蘭市入江運動公園）				
・ 遠軽 0対1 北海道コンサドーレ札幌U-12BLACK				
7.

U-10サッカーリーグ in北海道 オホーツク地区リーグ2019（後期）	期日	会場	参加数	特記事項
	2019. 07-09	各エリア会場	19クラブ20チーム	
	成績	トップリーグ：①遠軽②ペーネ③オニオン④網走市⑤FC網走⑥ドムフィスA⑦興部⑧北見西 2部リーグ：①リム②menina③紋別④美幌B⑤たきのうえ⑥ペーネB 3部リーグ：①斜里②サロ③アラス④イーグルス⑤ドムフィス⑥銀河		
8.

全道少年(U-12) 8人制サッカー大会 兼 第17回JA全農杯全国小学生選抜 サッカーIN北海道 オホーツク地区予選大会	期日	成績	特記事項
	2019. 9. 28-29	①北見西	・ リーグ戦
	会場	②北見オニオン	
	えんがる球技場	③FC網走	
	参加数	③FCペーネ	
11クラブ 11チーム			
北海道大会 2020. 04. 4-5 函館地区（函館フットボールパーク）			
・ 北見西			
9.

第3回オホーツクU-12 サッカーフェスティバル	期日	成績	特記事項
	2019. 10. 12-13	①ア・町・レソト勝	・ グループリーグ→トーナメント
	会場	②名寄ひまわり	
	えんがる球技場	③朝陽SSM	
	参加数	④別海	
25クラブ28チーム			
10.

第38回林-ツ管内 サッカー少年団大会 兼 全道フットサル選手権大会2020 U-12の部 林-ツ地区予選大会	期日	成績	特記事項
	2019. 12. 7-8	①たきのうえ	・ グループリーグ→トーナメント
	会場	②遠軽はやぶさ	
	紋別スポセン	③ル・サ興部	
	参加数	③網走市	
21クラブ21チーム			
全道大会 2020. 02. 29-03. 01 札幌地区（北ガスアリーナ札幌4 6）			
・ たきのうえ ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止			
11.

第30回JFA全日本U-12 フットサル選手権大会 北海道代表決定戦 道東ブロック予選 オホーツク地区予選大会	期日	成績	特記事項
	2020. 01. 18-19	①北見オニオン	・ グループリーグ→トーナメント
	会場	②網走市	
	網走市総合体育館	③北見西	
	参加数	④FC網走	
21クラブ20チーム			
道東ブロック大会 2020. 3. 28 根室地区（中標津町総合体育館 330° アリーナ）			
・ 北見オニオンキッド ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催延期			
・ 網走市			
12.

第3回オホーツクU-12 フットサルフェスティバル	期日	成績	特記事項
	2020. 01. 25-26	①開志つつじが丘	・ 1次リーグ→2次リーグ
	会場	②Faminas	
	北見西小学校他	③旭川北鎮	
	参加数		
24クラブ26チーム			
< 順位リーグ成績 > F2リーグ1位…FC網走 F3リーグ1位…遠軽はやぶさ F4リーグ1位…美幌UFO F5リーグ1位…ル・サ興部 			

1. 事業報告

7 月 7 日 (日)	JFA レディース/ガールズサッカーフェスティバル	網走スポーツトレーニングフィールド
	参加チーム 一般の部 ●レファ FC ●FC 網走 meninaU15 ●BELINDA 旭川 ノービスの部 ●il soleFC ●個人参加チーム	少女の部 ●EM バンビーナ ●FC 網走 menina ●津別・網走・オニオンガールズ ●斜里サッカースポーツ少年団 ●BELINDA 旭川 ●釧路トレセン
12 月 14 日(土)	第 3 回 オホーツクレディース/ガールズ フットサルフェスティバル	北海学園大学北見校 体育館
	参加チーム 一般の部 ●レファ FC ●il sole FCY ノービス ●il soleFC ●審判・指導者チーム	少女の部 ●EM バンビーナ ●FC 網走 menina ●網走・オニオンガールズ

〇OKFA 16→25 プラン 女子選手倍増計画について

・オホーツクエリアガールズサッカースクール（小学校 3 年生～4 年生対象）

9 月 14 日 5 名 10 月 20 日 9 名

・なでしこ広場の報告

1 回目	4 月 29 日	場所	湧別町	参加	24 名
2 回目	5 月 18 日	場所	端野町	参加	21 名
3 回目	6 月 22 日	場所	美幌	参加	10 名
4 回目	8 月 3 日	場所	紋別	参加	10 名
5 回目	9 月 16 日	場所	端野町	参加	12 名

2 全道大会報告

6 月 8 日～9 日 第 27 回北海道女子ユース（U-15）サッカー選手権大会 兼

第 24 回全日本女子ユース（U-15）サッカー選手権大会北海道予選

釧路・根室・オホーツクの合同チームで「釧路リベラルティ」として参加しています

（出場選手が多いチーム名を採用）

1 回戦	釧路リベラルティ	VS	小樽 Corosa`rio	2-1
2 回戦	釧路リベラルティ	VS	旭川アチーブ	1-7 （2 回戦敗退）

10 月 13 日～14 日 第 22 回北海道 U18 女子サッカー選手権大会 兼 JOC ジュニアオリンピックカップ

JFA 第 23 回全日本 U-18 女子サッカー選手権大会北海道大会

1 回戦	レファ FC	VS	札幌 BONITA FC	1-2 （1 回戦敗退）
------	--------	----	--------------	--------------

令和元年度 オホーツク地区サッカー協会 技術委員会事業報告



技術委員会			
委員長 菊池 豪			
強化部	普及・育成部	指導者養成部	GK事業部
部長 菊池 豪	部長 滝口 錦一	部長 安田 秀憲	部長 高瀬 義史
【目的】 OKFA強化・育成コンセプトの下に、U10からU16までの選手を強化する。毎年目標として「北海道を代表する選手の輩出」を掲げ、自立年代(U16～)で世界基準に達する選手が育つことを目指す。	【目的】 サッカーの楽しさをあらゆる年齢層、地域、団体に普及させてサッカーファミリーの拡大を図るとともに、選手にサッカーの基礎技術を学ばせる事業を推進する。	【目的】 日本サッカー協会の指導指針に沿って指導できる指導者を養成するとともに、オホーツク地区における指導者の指導力向上を目指す事業を推進する。	【目的】 北海道サッカー協会のGK担当と連携を図り、オホーツク地区におけるGK指導者の養成及び指導力向上とGK選手の強化を目指す事業を推進する。
【具体的事業】 1 U10～16強化部トレセン活動の実施 2 道外遠征の実施(U11/14) 3 道東トレセンへの参加(U10～16) 4 道内遠征の実施(U10～16) 5 OKFAテクニカルスタディーグループによるゲーム視察	【具体的事業】 6 各カテゴリー育成部トレセン(エリア開催)の実施 7 普及的指導者研修会の実施 8 エリアトレセンスタッフ研修会の実施	【具体的事業】 9 リフレッシュ研修会の計画・実施 10 JFAおよびHFKA主催リフレッシュ研修会への派遣 11 ナショナルトレセン伝達講習会への派遣 12 指導者資格取得講習会への派遣(選考含) 13 オホーツク地区主管公認指導者資格取得講習会の実施	【具体的事業】 14 強化トレセンへGKスタッフの派遣 15 GK練習会の計画・実施 16 GK指導者研修会の計画・実施
物品管理(プロジェクト・VTR等) 田中 有資格者名簿作成・管理 菊池 OKFA専門委員長会議の主管 菊池 地区HPやFacebookでの発信 各カテゴリーチーフ		副委員長 斎藤 会計 中井 監査 谷口	

【令和元年度 重点目標】

16 →25プラン OKFAドリームプロジェクトで掲げた目標と手段の積極的推進

(1) トレセンとチームの両方で強化を図り、各カテゴリーでの道トレ選手輩出

- OKFA強化育成コンセプトをトレセンスタッフだけでなく、チーム指導者とも共有し、指導者を中心として選手の強化を図る。
- 道東および道内外遠征でマッチを数多くこなし、地区トレセンの強化を図る。
- U-10から個人戦術にはたらきかけ、ゲームの中でスキルを発揮できるように取り組む。

→ 女子U13では、1名道トレに輩出することができた。各カテゴリーにて北北海道トレセン・道東トレセン選手を輩出することはできた。

(2) 普及・育成活動から強化へつながる事業を推進する

- トレセンデーの定着とスタッフの増員を進め、U10～U16のユース年代のよりきめ細やかな指導が出来る環境を整える。
- GK事業部による普及・育成事業を進めながら、GK選手のプレーの質及びGK指導者の質を向上させる。
- 市トレセンとの連携を図り、優秀な選手はエリアトレセンを経ずに 地区トレセンへ推薦するシステムを作る。
- エリアトレセンU11の取組の充実を図る。

→ どのカテゴリーにおいてもスタッフ増員が課題である。特に2・4種においては、一部のチームや指導者に負担がかかっており、地区全体で育成を図ることを全体で共有したい。

(3) 指導技術向上に向けての取り組み

- 10pのリフレッシュ研修会を各チーム指導者、40pをトレセンスタッフの指導技術向上の場として積極的に働きかけ、より多くの指導者の質をいっそう向上させる。
- 2020年度より始まるJFAトレセン認定制度に向けて、公認C級養成講習会の開催及び公認B級取得のトライアルへの参加を呼びかけ、各チームへ公認C級取得を働き掛ける。
- 各種年代及び女子の指導者から、北海道・道東トレセンへ参加を呼びかける。

→ リフレッシュ研修では、地区から述べ31名の参加があったがもっと多くの指導者の参加が必要である。

(4) ユース育成の組織的推進

- テクニカルスタディーグループ(TSG)を継続実施し、をオホーツク地区ユース年代のゲームにおける選手の現状と課題を把握し、分析結果をオホーツク地区全チームに伝達する。
- OKFAホームページやFacebookにおいて各種のトレセン活動、テクニカルレポートを公開し情報を共有する。
- 各カテゴリー委員会との情報共有を進め、人材交流をしながら育成の全体像を明らかにしていく。(カレンダー調整・予算の有効活用など)

→ エリアトレセンチーフからトレセン活動について情報を発信し、課題や成果を共有することができた。

令和元年度 オホーツク地区サッカー協会技術委員会 事業報告

1. 強化活動

(1)トレセン活動

①U10 年間8回実施(チーフ松村)

成果としては、3対1で、パスコースに入る意識付けをし、常にパスコースへ動くことに重点を置いてトレーニングを重ねることで、ゲーム中でも三角形を意識してパスコースを作ることが身についてきた。

GKからのビルドアップを促し、失敗を重ねる中で、少しずつではあるがつながることができるようになってきている。

ボールを持ったときに、スピードを上げすぎてしまい失うことが多いため、スピードを上げずによく見てプレーするように促すことで、不用意に前進することが少なくなってきた。課題としては、道東トレセンマッチ1日目は、繋ぐことは少しできてきたが、守備のトレーニングを行っていないため、ファーストディフェンスが弱く、相手に攻め込まれることが多かった。2日目の朝に、ファーストディフェンスのトレーニングをして試合に入ることで、多少改善されたが、が、守備においては、今後のトレーニングで積み重ねることが必要である。

②U11 年間16回実施(チーフ岡村)

攻撃時、ハイプレッシャーの中のスキルに課題がある。コントロール、ターン時のボールの置き所へのこだわりが足りない。相手の状況を詳しく観ておらず、持ち出しが大きかったり、スピードを上げすぎたりする。優先順位の意識はあるが、明らか に無理な状況でドリブルやパスのキャンセルができずに失うことが多い。

・攻守でのオン、オフ両面の個人・グループ戦術

トレーニングや遠征時のミーティングで伝えてきた。少しずつ選手の理解が高まり、選手の声として表れてきている。

課題は、ボールを奪った後のオフの選手の切り替えのスピードとポジショニングである。カウンターができないことから、より安全な選手へパスをした際に、効果的なポジショニングと厚みを素早くとることを高めていきたい。

OU11 北海道トレセン キャンプ 参加者 6 名

FP 強化 植松 駿斗(北見オニオン)、平澤 楓(ルゴサ 興部)、千葉 稜也(FCペーネ)

GK 強化 堀 碧天(北見オニオン)

FP 育成 榎方 俊太(北見オニオン)、和田 剣真(斜里)

○2月 北海道トレセン チーム で 空知遠征 参加(2名)

FP 植松 駿斗

GK 堀 碧天

○4月の北海道トレセンU12キャンプ

FP 千葉 稜也 GK 堀 碧 天 FP 植松 駿斗、女子 平澤 楓

③U12 年間12回実施(チーフ内野)

・テクニックの部分について、「止める」「蹴る」「運ぶ」の精度はある程度上がってきたが、「動きながらのテクニック」という面においては、他地区に比べるとまだまだ低い。判断してプレー選択するためにも、動きながらのボールコントロールの質は上げていかなければならない。また良い守備からボールを奪っても、次のプレーで慌ててしまい簡単に失う場面が目についた。夏の大会は全体的に前への意識が強すぎ、プレーに関わる人数が少なく単調な攻めが目立っていたが、プレミア大会では、優先順位を意識しながら関わろうとする選手も増え、選択肢を持ったプレーが増えたように感じた。

○守備面

・当初から「2人以上観ること」と「ゴール守る意識をした場所」を意識させるようトレーニングしてきたが、全道少年選抜では、極端ではないものの人につきすぎてしまい、簡単に隙間を通されピンチになる場面が多くみられた。しかし、プレミア大会では試合ごとに修正され、最終試合では用意準備(ポジション)から狙いを持った守備が多くみられ、パスカットも多くそこからチャンスを作ることができた。「観ておく」部分について、「攻撃も守備もできるポジション」を意識することで、観て、よいポジションをとってプレーに関わる選手が増えてきたように感じる。しかし、狙ってはいるものの距離が遠くアプローチが届かないという場面も見られた。Onの1vs1の部分については、多くの選手が意識してボールを奪いきろうとしているが、まだ足だけで奪いに行く選手がいる。しっかりボールを奪いきり、攻撃につなげようとする選手を多く育てていかなければならないと感じる。

○GK

・積極的にFPとかかわりを持ってプレーする場面がほとんど見られなかった。足元のテクニック不足はGKを含めたビルドアップなどを考えるとかなり難しくなるため、今後も質を上げていかななくてはならない部分だと思う。

④U13 年間8回実施(チーフ平岩)

(1) 成果

【守備面】

トレセンマッチを重ね、少しずつ「マークと自分だけ」の関係からボール状況を踏まえながらインターセプトを狙う守備が増え始めた。特に前線からプレス→サイドに誘導→限定→インターセプトという奪いどころを明確にした守備が増えた。

【攻撃面】

相手の守備の状況によらず、自チームのビルドアップでは相手最終ラインの背後にロングボールを入れる配球が多かった。ゲームを通じて立ち位置の修正を行うことで中盤を経由したビルドアップも少しずつ形となって出てきた。

(2) 課題

【守備面】

①オフの選手のポジショニング

～成果でボール状況を考えたとはいえ、1stDF以外の選手のポジショニングは改善が必要である。ボール状況を見ながら、集結したり、スペースを守ったりすることをボールから遠い選手でも行えるようにしていきたい。

②個で奪い切る力

～道東、北海道へ選手をステップアップさせていくことを考えると、個の力の向上も必要不可欠である。組織も大切だが、個人戦術・技術を高め、個々が判断してボールを奪いにいけるようにしていきたい。

【攻撃面】

①動きながらのパス&コントロールの質の向上

～足元でボールを止めてしまい、相手からのプレッシャーをまともに受けてしまうことが多い。相手のプレッシャーや味方のポジションを観ながら、ファーストタッチでボールを動かし、その後のプレーの正確性を向上させたい。

②ビルドアップ

～多くの選手が優先順位である「背後」を強く意識するあまり、判断なくボールを供給する場面が依然多い。学年が上がると、スピード、パワーといったフィジカル要素だけでは突破が難しくなるので、サッカー理解を深め、相手を観て、それぞれが適切なポジションをとり、意図的にビルドアップでボールを運べるように指導したい。

【全体】

相手、味方、スペースを観て判断する

～攻撃・守備において、もっと観て、ポジション・プレーを判断できる力を伸ばしていきたい。そのためにも、判断基準となる原理・原則を徹底させ、選手に意図のあるプレーを求めていきたい。

○道東トレセン

7月15日(月)道東TCC(中標津)志村(北見北)、永本(網走第三)

8月11日(日)道東トレセン(帯広)志村(北見北)、永本(網走第三)

8月24日(土)～25日(日)北海道トレセン道東代表(SSAP) 志村(北見北)、永本(網走第三)

1月11日(土)～12日(日)北海道トレセン道東代表(つどむ) 志村(北見北)

⑤U14 年間11回実施(チーフ三澤)

(1)成果

【守備面】

①裏の対応

道外遠征の中で、コーチングやマークの受け渡し、ラインコントロールの意識が高まり、改善が見られた。相手のボール状況に応じてDFラインを中心に対応ができるようになっていった。

②前線からの守備

～プレッシャーにいくときといかないときの判断をチーム全体でできるようになっていった。スライドをしながら、スペースを埋めて守備することができるようになっていった。

【攻撃面】

①ビルドアップ

～2年間のトレセン活動の中でチャレンジし続けることができた。特に、道外遠征の4日目はレベルの高い相手にパススピードや意図的なコントロールができるようになったこと、関わりの質が高まったことなどから良いチャレンジをすることができた。ボールの移動中に多くの選手が関わりをつくり、簡単にボールを失わないシーンが増えた。GKの関りも多くあり、入学時からの大きな成長が見られた。

(2)課題

【守備面】

①リスク管理

～ボール状況を観ずに、自分とボールの関係だけで関わりをつくり、カウンターを受ける場面があった。全体を観てポジションをとり、良いサポートをすることが、リスク管理にもつながるという理解が必要である。

②成果の更なる向上

～成果として裏の対応や前線からの守備を記載したが、道外遠征の1・2日目には意識自体が低いところであった。2年間のトレセン活動の中で、当たり前にしておかなければいけないところであった。

③守備の個人戦術(チャレンジ&カバー、同一視など)

～より高いレベルを目指すために、より高いレベルを目指すために、個で奪いきる力やカバーのポジショニング、同一視がで個で奪いきる力やカバーのポジショニング、同一視ができるポジショニングなどの理解をさらに向上していく必要がある。きるポジショニングなどの理解をさらに向上していく必要がある。

【攻撃面】

①パス&コントロール

～プレッシャーが強い相手に対し、前を向く・逃げるコントロール技術をさらに向上させる必要がある。ボールに寄って、どこでも蹴れる位置にボールを置く技術を身につけたい。判断が遅いため、相手に強いプレッシャーを受けることが多かった②ビルドアップ

②ビルドアップ

～失点シーンの多くは、ビルドアップのミスからによるものである。チャレンジし続けたことで一定の成果は見られたが、攻撃の優先順位やプレーエリアによる判断が身につけていなかった。

③前線の崩し

～前線を崩すための、関わり方やボールの動かし方。前線の効果的なアクションやそのアクションをおとりにして2、3人目が入り込むような関わりを共有したい。

・道東トレセンキャンプには最大5名が参加し、道トレセン交流大会には3名(FC 網走・池、百々、鵜城)が参加した。また、鵜城は北海道フューチャートレセンキャンプに参加することができた。

⑥U15 年間5回実施(チーフ寺田)

(1) 成果

【守備面】

- ・ボールフォルダーに対してのアプローチの質の向上
- ・前線からパスコースを限定させ、2ndディフェンダーがインターセプトをねらえるポジショニングの習得。
- ・ディフェンスの最終ラインのコントロール、スペースの管理を意識したポジショニング。

【攻撃面】

- ・突破に固執せず、空いたスペースを活用するようなボール運びや動き出し。
- ・ビルドアップによってボールを安全に運ぶ意識やトップの状況を見ながらボゼッションし、すこしずつ前へ運べるようになってきている。

(2) 課題

【守備面】

- ・プレッシャーをかけられたあと、自分のポジションがわからず、相手にスペースをあけてしまうことがあった。味方同士でポジションについても声を掛け合い、自分の守るべきゾーンを意識させ、相手を簡単にフリーにさせないプレーが終始ゲーム中意識できる力が必要である。

【攻撃面】

- ・プレッシャーが強い相手に対し、前を向くコントロール技術が足りない。ボールに寄って、どこでも蹴れる位置にボールを置く技術を身につけたい。(前を向けないため、相手に強いプレッシャーを受けることが多かった。)
- ・局面で2対1を作るための3人目の準備不足。
- ・前線を崩すための、関わり方やボールの動かし方。前線の効果的なアクションやそのアクションをおとりにして2、3人目が入り込むような関わりを共有したい。
- ・道東トレセン交流戦には最大3名(大澤・丸山(FC網走)、石田(遠軽中)、山端(網走1中))が参加することができた。参加した選手についてはサッカー理解も進んでおり、交流戦でもチームの力となっていた。

⑦U16 年間7回実施(チーフ武田)

- ・ディフェンシブサードにおけるビルドアップに課題が見られた。ボールを受けてから前を向いてプレー自信がなく、特にサイドバックはどの場面においてもポジションを下げた状態であった。相手のプレスが弱く縦パスを狙える機会があったとしても、すぐにボールを後ろに下げてしまうシーンが多かった。本大会3試合を通して、選手間でビルドアップについての考え方や意識の共有を図ることができたと実感している。実際の試合では、失敗を恐れずビルドアップに挑戦し攻撃につなぐことができていて、数多く決定的な機会を作り出すことができた。精神面、ポジショニングの重要性、常に観ておくことの大切さ等について理解を深めさせることができ、課題として取り組んできたテーマが成果として力を発揮することができた。

⑧女子 U12・15・18 のべ15回 (チーフ柴山)

- ・U12年代については、昨年の熊谷高瀬杯で課題と感じた「守備での役割の理解」と「ゴールを意識した守備」は飛躍的に向上した。DFラインを2枚(1-2-4-1)に設定し、常に相手を見ながら怖いスペースを中盤の選手が気付き埋める、ボールサイドへ絞る事を大会期間中に安定して行う事ができた。守備の原則を理解出来ている選手を配置できたからという事もあったが、基本的なチャレンジ&カバーや、スタートポジションを誤ってしまうというエラーは少なく、ベストメンバーでの試合では流れの中からの失点はなかった。また、左右両足でボールを扱う、扱おうと試みる選手の数が昨年に比べ格段に増えており、トレーニングの中でも左右差は確かにあるものの、躊躇無く利き足でない足でのパス、コントロールを選ぶ選手が増加している。
- ・基礎的なスキルの向上は継続的な課題であるが、それ以上に「主体的にプレーする」という点は、もっともっと日常から求められる必要性を感じた。ボールを受けたら近くの選手に渡すだけで終わってしまう選手も多く、攻守の関わり方の差があった。
- ・次年度へ向けての課題として、引き続き「ボールと自分」の関係だけでなく、相手、味方、ゴール、スペースといった、判断に必要な「観るべき対象物」についての理解と重要性を伝えながら、攻守ともに予測を持った準備と効果的な関わり方について、小学生年代のうちから習慣化するために継続して指導していく必要があると感じた。
- ・また、中学生以上の選手については、今季の北海道トレセンへの選出者がGK選手1名だけという結果になった。
- ・小学生年代で全道の女子選手、女子チームと対戦が出来る事は大きな意味があった。改めて「守備」の重要性和「原理原則に基づいたプレーの判断」を現状の立ち位置を踏まえた上で求める事ができた。
- ・地区の現状から、3種年代以降にも中学・高校のサッカー部を中心に活動する選手が多くなる事が予想される。特に中1の夏以降からは、体力・パワー・スピードなどの面で男女差が大きくなる事もあり、試合(公式戦)に出る事が難しい女子選手も少なからず出てきてしまうかと思うが、そういったフィジカル面でのハンデがある中でも「判断」「予測」「オフからの良い準備」「ブレースピード」といった工夫で、チーム内での自分の立ち位置を見出せる選手を増やしていくことで、地区の中でサッカーを継続してくれる女子選手が増えていくのではないかと感じている。
- ・新年度に向け、昨年に引き続き6年生の進学中学校サッカー部の先生へ女子選手が入学する事を引き継ぐ事も行い、少しでも女子選手がサッカーの継続をしやすい環境づくりも継続して発信していきたい。

○U12 キヤノンガールズエイト(道東トレセン選出選手)

鈴木 陽和(北見オニオン) 小山内 未空(たきのうえ) 村井 ひなた(たきのうえ)
歳永 ゆあ 寺崎 華子、山田 明佳(FC網走menina) 以上6名

○北海道トレセン女子U15キャンプ

第一期 富田 桃華(FC網走menina)※GK/U13

第二期 富田 桃華(FC網走menina)※GK/U13

○北海道トレセン女子U13道外遠征(広島遠征)

富田 桃華(FC網走menina)※GK

(2)テクニカル・スタディー・グループ(TSG)

- ・各チームに協力を得ながら実施することができた。大変感謝しております。

(3)道外遠征

①U 11(岡村)

【成果】

- ・守備では1stDFが奪う意識を持っていた。パスコースを限定させ2nd・3rdDFが狙って奪うという意図的な守備も見られた。
- ・体の接触を怖がらず、相手との距離感をつかみタイトな守備ができた。3日間通して戦う姿勢がチームとして見られた。
- ・攻撃では、どのチームが相手でもGKから中盤までボールを運ぶことができた。
- ・相手を意識してポジションをとり、ビルドアップを成功させる場面が増えた。また、果敢に1対1を仕掛ける場面が見られた。
- ・GKでは、効果的なコーチングが見られた。攻撃の起点となり、ボールを失わずつなぐことができるようになった。

【課題】守備面→・チームでの意図的な守備を継続してできない。

- ・ボールから遠い選手のポジショニングのかかわり方。

攻撃面→・ボールを奪った後、トップ以外の選手のかかわり方。幅と深さをとるのが遅い。バイタルエリアに入ってから崩しのアイデアと関わりが足りない。

- ・フィニッシュの精度(四隅を狙う・踏み込みの甘さ)
- ・個人差が激しい(観ることからの準備、フィジカル面での弱さ)
- ・決定的なシュートを外してしまう。

GK →・ゴールキックやビルドアップ時のパスが不安定で相手に取られ、ピンチを招く場面があった。

- ・ボールを保持してからの工夫。相手を食いつかせるために運んだり、効果的なスローを使うなど。

②U14(三澤)

守備面

成果

①裏の対応

～4日間の中で、コーチングやマークの受け渡し、ラインコントロールの意識が高まり、改善が見られた。相手のボール状況に応じてDFラインを中心に対応ができるようになっていった。

②前線からの守備

～プレッシャーにいくときといかないときの判断をチーム全体でできるようになっていった。スライドをしながら、スペースを埋めて守備することができるようになっていった。

課題

①リスク管理

～ボール状況を観ずに、自分とボールの関係だけで関りをつくり、カウンターを受ける場面があった。良いサポートが良いリスク管理になるようなポジショニングの理解が必要である。

②成果の更なる向上

成果として裏の対応や前線からの守備を記載したが、道外遠征の1・2日目には意識自体が低いところであった。2年間のトレセン活動の中で、当たり前にしておかなければいけないとことであった。

③守備の個人戦術(チャレンジ&カバー、同一視など)

～個で奪いきる力やカバーのポジショニング、同一視ができるポジショニングなどの理解をさらに向上していく必要がある。

攻撃面

成果

①ビルドアップ

～2年間のトレセン活動の中でチャレンジし続けることができた。特に、4日目はレベルの高い相手にパススピードや意図的なコントロールができるようになったこと、関わりが質が高まったことなどから良いチャレンジをすることができた。ボールの移動中に多くの選手が関りをつくり、簡単にボールを失わないシーンが増えた。GKの関りも多くあり、入学時からの大きな成長が見られた。

課題

①パス&コントロール

～プレッシャーが強い相手に対し、前を向く・逃げるコントロール技術をさらに向上させる必要がある。
ボールに寄って、どこでも蹴れる位置にボールを置く技術を身につけたい。(前を向けないため、相手に強いプレッシャーを受けることが多かった。)

②ビルドアップ

～失点シーンの多くは、ビルドアップのミスからによるものである。チャレンジし続けたことで一定の成果は見られたが、攻撃の優先順位やプレーエリアによる判断の基準の変化が身につけていなかった。

③前線の崩し

～前線を崩すための、関わり方やボールの動かし方。前線の効果的なアクションやそのアクションをおとりにして2、3人目が入り込むような関わりを共有したい。

GKについての成果と課題

これまでのトレーニングにおいてもGKを含めたビルドアップが課題であったが、遠征を通してフィールドプレーヤーとの連携をとりながらポジションをとり、関わろうとする意識が高まっていった。また、ボールを受けるだけでなく、優先順位を考え、縦にパスをつなぐこともできた場面も見られた。しかし、より厳しいプレッシャーがかかる場面では正確な判断やプレーができず、ゴール前でインターセプトされることもあった。遠征の2日目では守備が崩され、失点する場面も少なくなかった。ゴール前でフリーになっている選手を見て認識することはできていたので、パスを予測し、正確に早くポジショニングをとり、基本姿勢を崩さずにシュートに対応する準備の速さと正確さが求められた。4日目には守備が崩された場面にも落ち着いてシュートをキャッチすることができていた。

今後の課題としてはよりプレッシャーのかかった場面でのビルドアップや、スピードあるプレーの中で見て予測し、ポジショニングを修正し、正しい姿勢で構えるまでの速さや正確性を高めることが大切だと考えられる。

2. 普及・育成活動

(1) エリアトレセン活動

① U10・U11・U12

- ・意欲的な選手が多く、地区強化トレセンへ繋がっている。
- ・まだまだ「止める」「蹴る」「運ぶ」の技術に課題はあるが、少しずつ質が向上している。
- ・エリアによっては、スタッフ不足により、支障をきたしている。多くの指導者の関わりが必要である。

② U13／14

- ・攻守ともに積極的にチャレンジする姿勢がある。
- ・積極的にチャレンジする中で、プレーの判断(判断スピードも含む)に課題があり、シュートの機会を逃すことやボールを失うことが多々あった。
- ・戦術的な理解に選手間で差があり、チームとして機能しない場面も見受けられた。
- ・強化トレセンへ選手を輩出することができた。
- ・指導者の関わりが強まり、指導力向上が図られた。
- ・3対3ぐらいまでのグループ戦術を中心にトレーニングを行い、サッカーの原理原則を理解できる選手が増えてきた。
- ・エリア交流会を2回行い、エリアのレベルアップにつながった。

(2) 普及的指導者研修会の実施

- ・U12では、2日間連続の大会1日目終了後に指導者研修会を実施しており、年々参加する指導者が増えている。各チームの指導力向上と無資格者の方に公認資格取得を勧める機会となっている。
- ・3種においては、今年度1回実施した。道外遠征スタッフによる選手育成のポイントを実技によって行った。

3. 指導者養成活動

(1) リフレッシュ研修会の計画・実施

① 道東ブロック40p(2／8・9)参加者 地区内16名

【2種】田宮尚明、武田健介

【3種】三澤智文、平岩勇樹、山岸克成、山本悠司、山本貴之、寺田幸太郎、高瀬義史、穴田大樹、
工藤雅人、斎藤正倫、菊池豪

【4種】岡村英治、渡辺翔太

【女子】柴山真由美

② オホーツク地区20P(2／11)参加者 地区内16名

【2種】

【3種】長谷川伸、鈴木力

【4種】野上祐二、松橋則英、佐藤唯人、可児隆洋、藪大輔

(2) JFAおよびHKFA主催のリフレッシュ研修会への派遣

① 北海道カンファレンス(苫小牧)参加者 地区内1名

【2種】武田健介

(3) 公認コーチ養成講習会

① A級U15・・・【3種】斎藤正倫

② B級受講・・・【3種】山本悠司 【4種】岡村英治

③ B級トライアル・・・【3種】高瀬義文(北見光西中)、山岸克成(斜里中)、山本悠司(網走三中)、本間雄二(アクティブ) 【4種】松村圭悟(遠軽はやぶさ)、渡辺翔太

(4) 各種別指導者講習会

① 4種では2日日程の大会時の1日目終了後に実施

② 3種では、1回の実施。

- ・・・指導経験やサッカー経験がない指導者向けに「守備」のテーマで実施し、これを機にライセンス取得や意欲の向上につながった。

まとめ

今年度も多くの事業を展開しました。確実に選手を育成強化はされていると思います。しかし上位カテゴリーへ選手を輩出できているかといえ、どの種によっても厳しい状況です。また指導者においても、輪は広がっていますが、その輪を大きくすることが今後の課題です。トレセン認定制度に関わり、今年度もB級受講者を輩出することができましたが、さらに多くの上級ライセンス取得に向けてアクションが必要です。この動きがなければ、地区サッカーの発展、選手育成強化は成し遂げられません。共に頑張って行きましょう。

2019年度 オホーツク地区サッカー協会 審判委員会 事業報告

1 強化部会

- 例年通り研修会を通じてインストラクターによる主に実技指導を行った。
- 今年度も、強化部の実技の他に審判委員会の合同研修会にも一緒に参加することができたので、より充実した研修が出来た。来年度は、一般の他にユース強化にも力を入れたい。

2 育成部会

(1) 3級上申・4級新規取得講習会

- 各カテゴリーの協力が得られ、4級新規取得者が増加した。特に、ユース年代の増加が大きい。
- 各種大会などを利用し、上申・新規取得講習会の確保が出来た。
- 2種、3種年代のユース審判員新規取得、3級上申者も増えてきている。
⇒4種、3種の大会やリーグ戦での活動の場を提供して行きたい。
- 新規取得講習会時に毎年、更新講習会の受講、及び、手続きが必要な旨、アナウンスをした。

(2) ユース審判員の育成

- 多くの中高生のユース審判員が誕生した。
- 来年度は事前にアンケートを取り、審判活動に意欲のある人材を把握し活動していきたい。

3 指導者部会

(1) サッカー審判員研修会

- 映像で事象を確認し共有することでお互いの視点に立ち議論することができた。判定基準を確認したり、事象に対してどう対処するかということを研修することにより実りある研修会になった。
- 来年度は、競技規則が改正になっているので改正部分を中心に研修ができたらいと思う。

(2) サッカー審判員資格更新講習会

- ▲今年は、新型コロナウイルスの影響で更新講習会が延期になった。
- 4月以降で代替講習会を予定している。

(3) サッカーインストラクター資格更新講習会

- 研究開発部会による講習会で、共通した内容、理解のもとで実施することが出来た。
- サッカー、フットサル共に2級インストラクターの人数も増加した。

4 フットサル部会

(1) 3級上申・4級新規取得講習会

- ▲今年度は、上申者がいなかったため来年度は上申者を増やしていきたい。
- ▲講習会と大会が重なり、受講できない人がいた。次年度改善していきたい。
- ▲審判に対しての異議や暴言等が目にするものがある。これでは上申者が増えない。

(2) フットサル審判員研修会

- ▲講習会、研修会ともに他のカテゴリーとの大会が重なり参加したくてもいけない状況が多々あった。

(3) フットサル審判員資格更新講習会

- 今年は、新型コロナウイルスの影響で更新講習会が延期になった。フットサルは1回のみ延期
- サッカー審判員資格更新講習会と同様に J F A K i c k O f f へのアップは全日程を一括でアップするように対応した。

5 女子部会

- 今年度は数回の研修会を実施することが出来た。大学生1名のみだったが、自信をもってジャッジができるようになった。北海道女子リーグの副審、U-18女子全道副審も経験できた。

6 研究開発部会

(1) 道協会主催の審判員研修会参加レポートの配信

- ▲道協会主催のリフレッシュ審判員研修会や各種大会に参加したが、レポートを地区協会ホームページに掲載することが出来なかった。

(2) プレゼン資料の作成

- 受講者・講師両面から考えて、プレゼン能力（伝達能力）の向上を図ることが出来る良い機会だと思うので、今後も継続して実施していきたい。

7 総務部

(1) K i c k O f f 業務

- 講習会担当者が早めに準備に動いてくれたのでスムーズに業務を進めることが出来た。

(2) 地区協会情報委員会との連携

- 昨年同様、審判委員会関係の情報で地区協会ホームページへ掲載するものは、迅速に対応出来た。
- 新型コロナウイルスの対応も連携が取れて迅速に対応ができた

(3) 道協会との連携

- 道協会担当者が複数名での対応となったことから、質問や要望への対応にも迅速に対応して頂き、特に問題の発生も無く進めることが出来た。

2019年度 キッズ委員会事業報告

1. JFA事業

① フットサル委員会及び女子委員会 JFA 事業協賛

期日：2020年1月13日（月）於：道立北見体育センター

② 「JFAキッズ（U6/U8/U10）」

2020年3月7日開催予定でしたが、中止となりました。

③ 「JFAフットボールデー2019北海道 in オホーツク」の開催

サッカーファミリー拡大を目的に全カテゴリー指導者との連携による開催

期日：2020年2月16日（日）於：北見モイワスポーツワールド

2. 巡回事業

① マリア幼稚園・聖母幼稚園・藤幼稚園・大谷幼稚園・訓子府幼稚園への巡回指導

4月 日から毎週火曜若しくは水曜を中心に実施

実施回数 62回 延べ人数 2,312人



② マリア幼稚園グループ合同サッカー大会

期日：2019年10月1日（火）実施 会場 マリア幼稚園

マリア・聖母・藤3幼稚園年長組を対象に14チームによる大会



③ トヨタ事業

社員協力巡回指導2回

3. サッカー教室及び普及事業

① 北見市教育委員会事業でのサッカー教室の開催

4月25日（土）・26日（日） 市立体躯センター第2体育館

9月14日（土）・29日（日） 市立体育センター第2体育館

② 聖母幼稚園親子サッカー教室

2月1日（土）16世帯 32人

令和元年度 フットサル委員会 事業報告書

1. 名 称 JFAファミリーフットサルフェスティバル2019 北海道 in オホーツク
2. 主 催 公益財団法人 北海道サッカー協会
3. 主 管 オホーツク地区サッカー協会
4. 後 援 公益財団法人 日本サッカー協会
5. 開催日時 2020年1月13日（月、祝） 午前9:00～
6. 会 場 北海道立北見体育センター
7. 参加者数

U-6 部門

選 手 33 名 (男子 23、女子 10)

U-8 部門

チーム 9 チーム
選 手 72 名 (男子 64、女子 8)

ファミリー部門

チーム 4 チーム
選 手 43 名 (男子 33、女子 10)

年 齢 別 10歳以下 (男子 11、女子 1)
12歳以下 (男子 10、女子 0)
15歳以下 (男子 0、女子 3)
一般 (男子 12、女子 6)

参加選手	計	148 名
観客数		150 名
スタッフ		11 名
サッカーファミリー 合 計		309 名



1. 名 称 JFA フットボールデー in オホーツク 2019
ウインターフットサルフェスティバル
2. 主 催 公益財団法人 北海道サッカー協会
3. 主 管 オホーツク地区サッカー協会 / オホーツク社会人サッカー連盟
4. 後 援 公益財団法人 日本サッカー協会
5. 開 催 日 時 2020年2月16日(日) 午前9:00～
6. 会 場 北海道立北見体育センター

7. 参 加 者 数

オープン チーム	12 チーム	
選 手	131 名	(男子 123、女子 8)
シニア チーム	5 チーム	
選 手	52 名	(男子 52、女子 0)
ミックス チーム	3 チーム	
選 手	42 名	(男子 22、女子 20)

参加選手	225 名
観客数	0 名
スタッフ	9 名
合 計	234 名



オホーツク社会人サッカー連盟 主催事業

1. 名称 令和元年度 オホーツク社会人フットサルリーグ
 開催期間 2019年 7月 ～ 2020年2月
 会場 北見市立体育センター 訓子府町スポーツセンター
 競技方法 参加6チームによる2回戦総当たりのリーグ戦方式。
 優勝 FCコパン

2. 名称 2019 スプリングフットサル大会
 開催日 2019年 4月7日(日)
 会場 北海道立北見体育センター
 参加チーム数 オープン 4 チーム シニア 0 チーム
 ミックス 0 チーム
 参加者数 61 名 (男子 61 名、女子 0 名)

3. 名称 オータムフットサル大会 2019
 開催日 2018年11月10日(日)
 会場 遠軽町総合体育館
 参加チーム数 オープン 5 チーム シニア 0 チーム
 ミックス 0 チーム
 参加者数 46 名 (男子 46 名、女子 0 名)

3. 名称 クリスマスカップ 兼 第14回 TSUBOTAKE CUP
 開催日 2019年12月8日(日)
 会場 北海道立北見体育センター
 参加チーム数 オープン 11 チーム シニア 4 チーム
 ミックス 4 チーム
 参加者数 253 名 (男子 226 名、女子 27 名)

4. 名称 ウインターフットサル大会 (JFAフットボールデーinオホーツクへ変更)
 開催日 2020年 2月16日(日)
 会場 北海道立北見体育センター
 参加チーム数 オープン 12 チーム シニア 5 チーム
 ミックス 3 チーム
 参加者数 225 名 (男子 197名、女子 28名)

※ 試合結果は、オホーツク社会人サッカー連盟のホームページをご覧ください。

2019年度 オホーツク地区サッカー協会 情報委員会 事業報告

1. 月別延べ訪問数（昨年度との比較）

月	2019年度	2018年度	比較	月	2019年度	2018年度	比較
4	15738	14997	+741	10	18735	20933	-2198
5	22313	22305	+8	11	16124	20211	-4087
6	22866	22894	-28	12	15864	18712	-2848
7	23039	23199	-160	1	14053	16605	-2552
8	21068	21696	-628	2	12960	15659	-2699
9	22902	21310	+1592	3	9523	-	-

※3月は途中までの訪問者数を入れています。

※今年度（3月途中まで）訪問者数 215185

※訪問者数、前年比 95.5%（前年比 10053減）

2. 主な取り組み

①大会報告、研修会等の掲載

訪問者が年間約10、053人減（年間のべ約21万人、1日平均580人の利用）となった。特に10月以降の利用者数が減っている部分については、各カテゴリーからのホームページの更新が減ったため、利用者減となったと考えられる。引き続き、各カテゴリーの情報委員と連絡を密にとり、きめ細やかな情報提供が得られるように、働きかけをしていく必要があると考える。

②情報委員会のカテゴリー化について

本年度で4年目となる取り組みで、各カテゴリーとの連携が取れていない部分があったので、来年度では情報委員との連絡を密に取って、情報を遅滞なく伝える形を構築していきたい。

3. Facebook の活用

①各カテゴリーのタイムリーな情報を得ることができたと考えている。

②引き続き、幅広く情報共有していきたい。

4. 今後の課題

①各カテゴリーの担当者と連携し、情報の質の更なる向上に努める。

②大会結果の即日掲載は利用者拡大に有効であり、期待される部分でもあるので、さらに広げていきたい。

③Facebook については動画投稿もできるので、見て楽しめる情報も提供したい。

令和元年度 シニア委員会 事業報告

1. 第14回オホーツク地区シニアサッカーフェスティバルを5月26日（日）に、えんがる球技場（人工芝）で開催しました。
オホーツクシニアSC40、オホーツクシニアSC50、北見LEGEND、FC. IDEAL CUARENTA、FCイーグルス、GF、遊蹴会、Revival S.Cの7チームが参加し、変則リーグ戦により、各チーム2試合ずつ対戦する予定でしたが、開始早々、外気温が35℃を超え猛暑日となったため、各チーム1試合で終了しました。
 2. 第5回オホーツク地区シニアサッカーリーグを開催。
令和元年度は、オホーツクシニアSC、北見LEGEND、FC. IDEAL CUARENTA、FCイーグルス、GF、遊蹴会、Revival S.Cの6チームが参加し、各チーム2回総当たりで行う。
10月6日に最終節が終了。優勝は北見LEGENDで、シニアリーグ5連覇。
 3. 第12回オホーツク地区シニアフットサルフェスティバルを11月10日（日）に、えんがる高齢者スポーツセンター（砂入り人工芝）で開催しました。
オホーツクシニアSC40、オホーツクシニアSC50、北見LEGEND、FC. IDEAL CUARENTAの4チームが参加し、各チーム総当たり、10分ハーフのリーグ戦を行いました。
 4. 北海道シニアサッカー連盟が主催する各種オープン大会への参加。
道東地区の各シニアチームと連携をとり、地域大会へ参加する。
 - 1) 第6回 北海道シニア8サッカーツアーオープン大会が、道北地区サッカー協会の主管で、6月8日（土）・9日（日）に天塩川サッカー場で開催され、北見LEGENDが参加。
 - 2) 第19回 北海道シニアサッカーオープン大会が、8月24日（土）～8月25日（日）にサングリンスポーツヴィレッジ（夕張平和運動公園サッカー場）で開催。
40部門に、北見LEGEND、FC. IDEAL CUARENTAが参加。
50部門に、オホーツクシニアSCが参加。
 - 3) 第4回 東北海道シニアサッカー交流戦が、9月29日（日）に音更町キックロス人工芝サッカー場で開催され、北見LEGEND、FC. IDEAL CUARENTAが参加。
- 網走地区社会人連盟が主催するフットサル大会への参加。
- 4) X'masカップ2019兼 第14回TSUBOTAKE CUPが、12月8日（日）に北海道立北見体育センターで開催され、シニアクラスにFCイーグルス、GF、北見LEGEND、FC. IDEAL CUARENTA A、FC. IDEAL CUARENTA Bの4チームが参加。
 - 5) JFAフットボールデーinオホーツク2019 ウィンターフットサルフェスティバルが、2月16日（日）に北海道立北見体育センターで開催され、シニアクラスにFCイーグルス、GF、北見LEGEND A・B、FC. IDEAL CUARENTA A・Bの5チームが参加。

2019年度 北見サッカー協会 事業報告

カテゴリー	月日	事業名	開催地	参加人数
第1種	10月14日	第1回北見市社会人エイトサッカー大会 参加数が少ない為中止		
	3月8日	第9回北見ふっとさる祭り(新型コロナウイルス対策による中止)	北見市	
第2種	5月～10月	市内高校リーグ(2019 OKFAリーグ協賛)	北見市他	
第3種	1月～2月末	北見エリアウィンターリーグU-14	北見市	100人
		1部5チーム、2部4チームで開催(2月20日以降中止)		
第4種	9月23日	山本杯(U-12)・鴨下杯(U-10)	北見モイワ	
		優勝：北見オニオンキッド 準優勝：北見リトルウイングス (6チーム参加)		100人
		優勝：北見リトルウイングス 鴨下杯 準優勝：北見イーグルス (6チーム参加)		100人
	10月1日 3日	Jr. アスリートチャレンジアカデミ	道立北見体育センター	50人
			北見市立体育館	
	10月6日	明治安田生命杯少年サッカー大会 優勝：FC網走U-12 準優勝：北見オニオンキッド	道立北見体育センター	70人
	2月16日	塩別つるつる温泉杯U-9(13チーム参加)	留辺蘂町体育館	150人
		優勝：北見オニオンキッド		
	3月	キッズ普及事業(新型コロナウイルス対策により中止)		
女子	12月14日	フットサルフェス開催(地区協連携)4チーム参加	北海学園北見体育館	43人
協会事業	9月23日	北見モイワスポーツワールドの清掃活動の実施	北見モイワ	200人
	10月14日	北見地区役員による北見モイワスポーツワールドの清掃活動の実施	北見モイワ	10人
	11月23日	ビールパーティーの開催 台風19号による宮城県丸森町(姉妹都市)災害支援金活動を同時に行う	北見経済センター	400人
	2月10日	サッカー競技環境整備における要望書の提出	北見市	3人
		北見市へ環境整備に向け寄附の実施		

令和元年度 網走市サッカー協会 事業報告

1. 5月8日（水） 網走市サッカー協会 総会をエコーセンターで開催
地区協会より、松井副会長に出席していただいた。
2. 4月～3月 キッズサッカー教室の開催を支援（用具等の貸与、補充）
網走市サッカースポーツ少年団（毎月1回、第2土曜開催）
NPOあばしりスポーツクラブ（毎月1回、第2土曜開催）
3. 4月～3月 道東大会、全道大会に出場するチームに対し、助成金を支給。
（20,000円/1大会、登録されている全チームに適用）
指導者資格取得者に補助金を支給。（5,000円/1人）
4. 9月8日（日） 第33回オホーツクジュニアカップサッカーin2019を後援。
会場は網走スポーツ・トレーニングフィールドの天然芝3面を使用。
4種小学生・指導者の330名が参加し、保護者・観客を含めると
来場者数は約500名。
5. 11月23日（土） エスポラーダ北海道フットサル教室@網走市を開催。
会場は網走市総合体育館で中学生が対象。
FC網走U-15と市内の中学生が個人参加。
6. 2月21日（金） 第21回 網走市サッカー協会 ビールパーティーを網走セントラル
ホテルで開催。

紋別サッカー協会 2019年度事業報告

1 主催事業

- ・ 6月 紋別サッカー協会役員会・総会
- ・ 11月23（土）・24日（日） ダスキン末広兼紋別サッカー協会長杯フットサル
ジュニアサッカー大会
対象 幼児～小学生（参加者152名）

2 主管・後援事業

- ・ 9月7日（土）コンサドーレサッカー教室（後援）河合C. R. C
- ・ 12月19日（木）コンサドーレ選手交流会（後援）河合C. R. C・荒野拓馬選手
- ・ 12月10日（火）小野寺慎吾障がい者スポーツ振興会事業（後援）
- ・ 1月25日（土）オホーツク文教宣言協議会フットサル大会（主管）
対象 小学生～中学生
- ・ 1月26日（日）タナカスポーツ杯フットサル大会（主管）
対象 一般
- ・ 2月15（土）・（日） 第3回市民フットサル大会（主管）
対象 幼児・小学生・一般（中学生以上）

3 (株)北海道コンサドーレとの連携

「紋別市と(株)コンサドーレとの相互交流に関する協定」に基づき、スポーツを通じた相互交流関係の推進のため、紋別サッカー協会も連携を図る。

○主な取り組み

- ・ 指導者派遣に伴う市内各チームへの指導
- ・ 未就学児、小学生へのサッカー教室開催

遠軽サッカー協会 令和元年度 事業報告

- 6月 9日（日）：第5回遠軽信用金庫杯 U-10 サッカー大会
対象 4年生以下
場所 えんがる球技場
参加チーム 10チーム 参加者 133人

- 8月10日（土）：第15回がんぼうカップサッカー大会
対象 5年生以下
場所 えんがる球技場
参加チーム 14チーム 参加者 195人

- 9月 7日（土）：第30回遠軽サッカー協会親睦交流会
場所 遠軽町福祉センター

- 9月16日（月）：第14回遠軽キッズサッカーフェスティバル
対象 幼稚園年長児、1・2年生、幼稚園年長児及び1・2年生の母
場所 えんがる湧別川球技場
参加者 年長 61人 1・2年生 14人 母 20人程度

- 10月14日（月）：第28回遠軽サッカー協会会長杯中学校サッカー大会
場所 えんがる球技場
参加チーム 3チーム 参加者 52人

- 2月29日（土）：第19回遠軽サッカー協会会長杯フットサルジュニアサッカー大会
対象 幼稚園年長児、小学校各学年
場所 遠軽町総合体育館

※ 新型コロナウイルスのため中止

- 3月 1日（日）：第40回遠軽室内サッカー大会
対象 中学生以上
場所 遠軽町総合体育館

※ 新型コロナウイルスのため中止

令和元年度 斜里サッカー協会 事業報告

日 付	事 業 名	開催地	対 象	備 考
6月7日	役 員 会	ゆめホール知床	会員	
6月7日	総 会	ゆめホール知床	会員	
6月22日	キッズサッカー教室	中斜里公民館体育館	U6	新規事業
7月13日	キッズサッカー教室	中斜里公民館体育館	U6	新規事業
7月21日	北海道コンサドーレ札幌 2019市町村&クラブパート ナー交流サッカー教室	陸上競技場	斜里SS少年団	
8月10日	キッズサッカー教室	中斜里公民館体育館	U6	新規事業
9月14日	キッズサッカー教室	中斜里公民館体育館	U6	新規事業
10月6日	キッズサッカー教室	斜里町陸上競技場	U6	はまなすマラソン会場
10月9日	キッズサッカー巡回指導	はまなす保育所	U6	
10月10日	キッズサッカー巡回指導	双葉保育所	U6	
10月14日	キッズサッカー教室	中斜里公民館体育館	U6	新規事業
10月18日	キッズサッカー巡回指導	大谷幼稚園	U6	
10月23日	キッズサッカー巡回指導	中斜里保育所	U6	
11月9日	キッズサッカー教室	以久科小学校体育館	U6	新規事業
11月23日	エスポラーダ北海道フットサル教室	斜里中学校体育館	斜里SS少年団	赤い羽根共同募金主催
12月14日	キッズサッカー教室	中斜里公民館体育館	U6	新規事業
1月11日	キッズサッカー教室	中斜里公民館体育館	U6	新規事業
2月8日	キッズサッカー教室	中斜里公民館体育館	U6	新規事業
2月9日	こども雪中サッカー大会(しゃりっころんど)	斜里小学校	一般小学生	
2月23日	斜里町フットサルフェス	斜里中学校体育館	一般(3種～シニア)	2/21～コロナウィルスのため活動中止
3月14日	キッズサッカー教室	中斜里公民館体育館	U6	2/21～コロナウィルスのため活動中止
毎週火、土曜日	協会主催練習会	斜里中学校 体育館	シニア～3種	2/21～コロナウィルスのため活動中止
広報活動	斜里サッカー協会FBページの随時更新			

令和1年度 美幌町サッカー協会 事業報告

月日	事業内容	備考
令和1年		
5月～	びほろサッカー教室 開催 5/18、5/29、6/1、6/19、6/22	小学生低学年を対象としたサッカー教室
5月～	幼稚園サッカー教室 開催 5/29、6/11、7/2、8/29	藤幼稚園、大谷幼稚園にて実施
6月 23日	第57回 北海道障がい者スポーツ大会	障がい者チーム2チーム、美幌町1チーム 会場準備、審判等の大会手伝い
7月 21日	第34回北網地区社明杯少年サッカー大会 兼 第 8回ライオンズクラブカップサッカー大会	美幌町あさひ多目的運動公園、 美幌中学校にて開催
10月 6日	美幌町秋季体育祭会長杯争奪サッカー大会	中学校の部 小学6年生(混合)対中学生 社会人の部
令和2年		
3月 22日 3月 29日	美幌町ジュニアフットサル大会 美幌町交流フットサル大会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 両日とも大会を中止した

2019 年 度 会 計 決 算

オホーツク地区サッカー協会

収 入

項 目	予 算	決 算	対 比	内 訳
繰越金	398,424	398,424	0	
登録料	2,100,000	2,068,400	△ 31,600	地区協会 登録料等
道協会交付金	748,400	748,400	0	H30 (公財)北海道サッカー協会交付金
道協会特別補助金	790,000	990,000	200,000	地区主催大会支援59万 地区トレセン支援20万 事務局支援金20万
その他	200,000	300,000	100,000	広告料(さかきばら泌尿器科200,000) 広告料(第一工業50,000、アートホーム50,000)
利息	176	13	△ 163	利息
合計	4,237,000	4,505,237	268,237	

支 出

項 目	予 算	決 算	対 比	内 訳
事務局費	110,000	204,828	94,828	事務用品 1,728 印刷発注 179,100 道協会役員会費 21,000 その他 3,000
通信費	140,000	110,926	△ 29,074	送料 10,362 振込手数料 8,586 インターネット回線 61,978 携帯電話・ファックス 30,000
事業費	400,000	400,000	0	道東リーグ 50,000 社会人連盟補助 180,000 2種FAリーグ 60,000 全道女子U18大会補助 50,000 地域協会事業補助 60,000
事業委員会費	2,100,000	2,100,000	0	第1種 10,000 第2種 60,000 第3種 60,000 第4種 60,000 審判 10,000 技術 1,570,000 フットサル 30,000 女子 50,000 シニア 30,000 キッズ 10,000 情報 210,000
AAFA16→25 プラン事業	590,000	590,000	0	1種(50,000) 2種(87,450) 4種(126,380) 審判(76,250) 技術(249,920)
旅費	140,000	117,820	△ 22,180	常任理事会 104,400 規律・フェアプレー委員会 0 地域協会理事長会議 0 役員会議 3,420 その他 10,000
会議費	280,000	246,488	△ 33,512	常任理事会 21,238 専門委員長会議 0 規律・フェアプレー委員会 0 総会 221,800 地域理事長会議 0 その他・役員会議 3,450
負担金	145,000	145,000	0	道東ブロック協議会負担金 145,000
積立金	50,000	50,000	0	PC購入積立金 50,000
事務局手当	140,000	140,000	0	事務局長 60,000 事務局次長 30,000 会計 50,000
記念費	10,000	10,725	725	表彰者・功労者 10,725
慶弔費	30,000	604	△ 29,396	祝電 604
予備費	102,000	4,159	△ 97,841	
合計	4,237,000	4,120,550	△ 116,450	

残 高 384,687

オホーツク地区サッカー協会 積立金

積立年月日	預入額	残高	備 考
平成26年2月28日	50,000	0	平成26年3月1日 PC購入(85,000円)
平成27年3月4日	50,000	50,000	
平成27年12月24日	50,000	100,000	利息10円
平成29年3月5日	50,000	150,000	
平成30年1月4日	50,000	200,000	
平成31年2月21日	50,000	250,000	
平成31年2月23日	50,000	300,000	利息2円

奈良竜樹 プロジェクト基金

積立年月日	預入額	残高	備 考
平成27年12月5日	100,000	100,000	
平成28年12月12日	100,000	200,000	
平成29年12月25日	100,000	300,000	利息1円
平成31年2月28日	100,000	400,000	利息2円
令和1年8月21日	10,000	410,000	小清水サッカー少年団
令和2年2月23日	100,000	510,000	利息3円

2019年度オホーツク地区サッカー協会

会計監査報告書

オホーツク地区サッカー協会規約第三章第12条に基づき
協会会計について、詳細にわたり監査の結果、適正に
執行されていることを報告いたします。

令和2年4月1日

オホーツク地区サッカー協会

監査委員 天野 哲也



監査委員 村井 正英

